

9/18
五

「NもNも 社会保障」

「自営業者や中小企業
が支払う社会保険料は高
すぎる」。読者から寄せ
られた声です。

(2017年6月現在)
にのぼり、滞納を理由
に、加入者の人権を無視
した保険証の取り上げや
財産の差し押さえなどが
横行。受診をがまんして
病気を悪化させたり、死
亡したりする事件も起き
ています。

自営業者が多く加入す
る市区町村の国民健康保
険(国保)では、「給与年
収480万円の4人家族
で国保料が年約55万円」

(東京都A区)など、高
すぎる国保料(税)が生
活を脅かしています。

国保料の滞納世帯は、
加入世帯の15・3%にあ
たる289万3千世帯

保険料への責任を後退さ
せ、公費負担を削減した
ことがあります。

現在、各地で、公費負
担の増額や国保料の算定
方法の改善による国保料
軽減を求める運動が広が
っています。

大企業には軽く

健康保険や厚生年金保
険では、従業員の社会保
険料の半分程度を企業が
負担します。

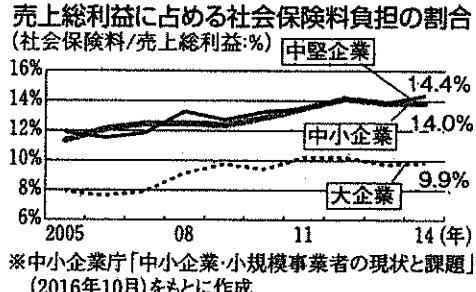
その負担額は、従業員
に支払う給与や賃与をも
とにした基準額に一定割
合を乗じて算出されま
す。現在の制度では、そ
の割合は、大企業でも中

の99%以上を占め、従業
員の3人に2人が働く日
本の経済と雇用の重要な
担い手です。

応能負担強めて

経営者からは、国に対
し「公費負担を増やして
保険料軽減を」「企業負
担分も、『応能負担の原
則』を強めて、大企業は
より多く、中小企業はよ
り軽くなる仕組みに」

※中小企業庁「中小企業・小規模事業者の現状と課題」
(2016年10月)をもとに作成



高額国保料の要因は、
①加入世帯で低所得者が
増えたことによる保険料
収入の減少と、②国が国
加入世帯の15・3%にあ
たる289万3千世帯

中小企業は、国内企業

(随時掲載)